

第3章

プランの 基本的な考え方

1	基本理念	36
2	基本方針	38
3	重点プロジェクト	39

1 基本理念

本区は、地域独自の魅力ある観光資源が豊富にあるとともに、都心に至近の立地というアクセスのよさもあり、観光地としてポテンシャルの大きいまちです。それらを活かし、区民も来訪者も、本区の魅力を知り・体験する中で、本区における観光に満足できるよう、本プランでは「区民も来訪者も満足度No.1のまち 江東」を基本理念として掲げます。



基本理念の
実現に
向けた考え方

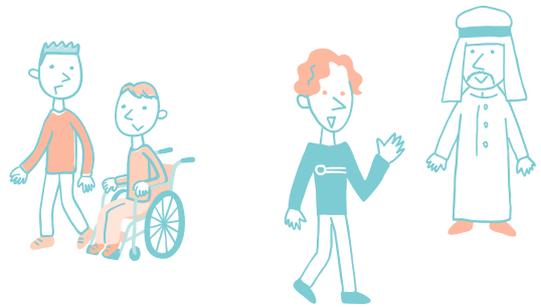
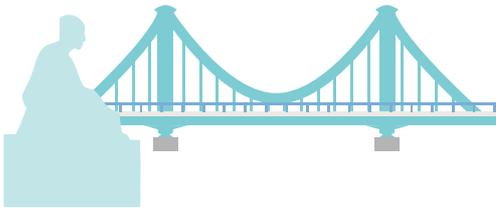
「区民が誇れる江東区」を
実現していく

区民は、区の魅力を伝え広める重要な存在ですが、区の魅力は必ずしも区民に十分には知られていない状況です。区民自身が地域の資源に親しみ・愛着をもつこと、また観光推進に地域が関わっていくことで、区の魅力がより磨かれ、広まっていき、「区民が誇れる江東区」となっていくことを目指します。



来訪者も

のまち 江東



来訪者が 「江東区ならではの」を堪能できる

国内外からの来訪者は、本区の潜在的なファンです。本区を実際に訪れてファンになってもらうためには、「江東区ならではの」を体験できることが重要です。地域資源を活用した観光メニューを体験でき、「江東区ならではの」の魅力を堪能できる観光の推進を目指します。

安心して観光でき、 「また訪れたい江東区」

言語の壁や情報のわかりづらさ、交通の不便や宗教上の不安など、質の高い観光体験の妨げとなってしまう事項は多くあります。ハード・ソフト両面で、訪れる人が安心して観光でき、「また訪れたい江東区」となっていくことを目指します。

2 基本方針

本プランでは、基本理念「区民も来訪者も 満足度No.1のまち 江東」の実現に向けて、以下3つの基本方針を設定し、それぞれに沿って具体的な取り組みを推進していきます。

基本方針1 地域資源を活かした魅力づくり・磨き上げ

「区民が誇れる江東区」となるよう、また訪れる人が「江東区ならではの」を堪能できるよう、本区の地域資源を活かした魅力づくり、またその磨き上げを、地域と連携しながら行っていきます。

施策の方向性

(1) 様々な魅力の創出・磨き上げ



観光舟運の活性化、周遊ルートの造成、ナイトエコノミー*の推進 など

(2) 魅力あるイベントの開催



水辺空間を活用したイベントの企画・開催、周遊型イベントの企画・開催 など

基本方針2 魅力を伝える情報発信・プロモーション

本区に訪れる方に本区の魅力が伝わり、観光体験の質が上がるような、効果的な情報発信を行います。また、その前の段階として多くの方に本区を認知してもらえよう、イメージ形成に資するプロモーションを行っていきます。

施策の方向性

(1) 観光体験の質を上げる情報の発信



観光案内の機能強化、観光マップの作成、情報発信の多言語化 など

(2) イメージ形成に向けたプロモーション



水辺の魅力に関するプロモーション、SNSの活用、KOTOフィルムコミッションの活用 など

基本方針3 観光推進の「ひと」「まち」づくり

訪れる側・受け入れる側が双方安心できる持続可能な観光*のあり方を推進していけるよう、また観光推進に向けて地域の様々な主体と協働していけるよう、基盤となる人材育成や連携促進、観光の環境づくり等を行っていきます。

施策の方向性

(1) 観光推進の基盤となる人材育成・連携促進



観光ガイドの養成と活用、区内の施設・団体との連携の推進、観光協会との協働、メタ観光*の推進 など

(2) 安心して快適に観光を楽しむ環境づくり



水辺空間の整備・管理・活用、移動しやすさの向上、オーバーツーリズム*の対策、来訪者が安心できる防災の推進 など

3 重点プロジェクト

本プランにおいて、特に重点的に、かつ基本方針を横断して取り組む内容として、以下の2つの「重点プロジェクト」を設定します。

重点プロジェクト1

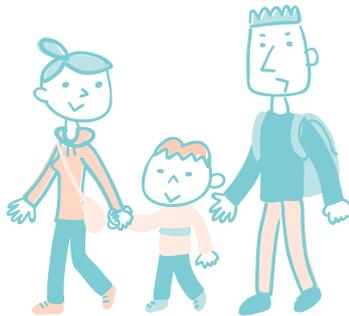
水辺を活かした観光推進

本区を特徴づける大きな魅力である水辺について、さらなるにぎわい創出を図るとともに、イメージ形成に向けたプロモーション、活用に向けた連携の推進やハード面の整備・管理などに一体的に取り組み、水辺を活かした観光推進を図ります。



重点プロジェクト2

周遊性の高い観光推進



エリアごとに異なる魅力を有する本区において、区内外の方がそれぞれの魅力に触れられるよう、周遊型イベントの開催や周遊ルート造成、各エリアの魅力を伝える情報発信、移動のしやすさの向上などに一体的に取り組み、周遊性の高い観光推進を図ります。

第4章

施策の内容

基本方針1	
地域資源を活かした魅力づくり・磨き上げ	42
基本方針2	
魅力を伝える情報発信・プロモーション	45
基本方針3	
観光推進の「ひと」「まち」づくり	48
重点プロジェクト1	
水辺を活かした観光推進	52
重点プロジェクト2	
周遊性の高い観光推進	54

「施策の内容」の見方

- 取り組みの方向性を示した「概要」の中に、具体的な手段としての「個別事業の例」を示しています。
- どのような個別事業が必要かについては、本プランの策定後も定期的に見直していくため、記載されている個別事業は今後変更される可能性があります。また、記載されている個別事業の中には、本プランの策定後に具体化していく予定のものも含まれます。

取り組み

本プランの期間中に取り組む内容の方向性を示しています。具体的な手段については、策定後も定期的に見直していきます。

基本方針1

地域資源を活かした 魅力づくり・磨き上げ

施策の方向性(1)

様々な魅力の創出・磨き上げ

地域資源を活用し、地域と連携しながら、本区ならではの魅力をつくっていくとともに、その魅力の向上を図ります。



深川花手水

取り組み

取り組み名	概要	個別事業の例
観光舟運の活性化	水辺・水上の空間を突しめる観光資源として、内部河川・運河における観光舟運について、関係行政機関や民間事業者・区民等と連携しながら、各種ツアーの開催等による活性化を図ります。	▶ 小名木川リバーツアー ▶ クルーズ等による観光舟運
和船の乗船機会づくり	伝統的な操船技術を体感できる和船について、定期的な乗船機会を横十間川において設けるとともに、イベント時に他の場所でも乗船会を開催します。	▶ イベント時における和船乗船体験会 ▶ 横十間川親水公園内での和船運航
にぎわいある水辺空間の創出	水辺のにぎわい拠点を整備するとともに、魅力ある水辺空間を創出し、地域の様々な主体と連携して恒常的ににぎわいづくりに取り組みます。	▶ 旧中川・川の駅周辺のにぎわい創出 ▶ カヌー・カヤック等非動力船を活用した水上アクティビティの推進
区内の有力資源を活用した周遊促進	豊洲 千客万来や東京国際クルーズターミナル等の有力な観光資源と連携し、各種施設における区内の魅力の情報発信等を行います。	▶ 観光案内所の機能強化 ▶ 駅や商業施設と連携した観光案内冊子の配発
周遊ルートの造成	区内の観光資源同士を組み合わせ、舟運活用や水辺と陸域の接続、周遊のテーマ性、また移動のしやすさ等を考慮した周遊ルートを作成します。	▶ 江東区観光周遊MAPの作成 ▶ デザインマンホール設置

個別事業の例

「取り組み」の内容を踏まえて、現時点で実施していくことが想定される、具体的な手段です(今後具体化するものも含む)。

基本方針 1

地域資源を活かした 魅力づくり・磨き上げ

施策の方向性(1)

様々な魅力の創出・磨き上げ

地域資源を活用し、地域と連携しながら、本区ならではの魅力をつくっていくとともに、その魅力の向上を図ります。



深川花手水

取り組み

取り組み名	概要	個別事業の例
観光舟運の活性化	水辺・水上の空間を楽しめる観光資源として、内部河川*・運河における観光舟運について、関係行政機関や民間事業者・区民等と連携しながら、各種ツアーの開催等による活性化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 小名木川リバーツアー ▶ クルーズ等による観光舟運
和船の乗船機会づくり	伝統的な操船技術を体感できる和船について、定期的な乗船機会を横十間川において設けるとともに、イベント時に他の場所でも乗船会を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ イベント時における和船乗船体験会 ▶ 横十間川親水公園内での和船運航
にぎわいある水辺空間の創出	水辺のにぎわい拠点を整備するとともに、魅力ある水辺空間を創出し、地域の様々な主体と連携して恒常的なにぎわいづくりに取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 旧中川・川の駅周辺のにぎわい創出 ▶ カヌー・カヤック等非動力船を活用した水上アクティビティの推進
区内の有力資源を活用した周遊促進	豊洲 千客万来や東京国際クルーズターミナル等の有力な観光資源と連携し、各種施設における区内の魅力の情報発信等を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 観光案内所の機能強化 ▶ 駅や商業施設と連携した観光案内冊子等の配架
周遊ルートの造成	区内の観光資源同士を組み合わせ、舟運活用や水辺と陸域の接続、周遊のテーマ性、また移動のしやすさ等を考慮した周遊ルートを造成します。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 江東区観光周遊MAPの作成 ▶ デザインマンホール設置

取り組み名	概要	個別事業の例
商店街と連携した魅力の創出	商店街を組み込んだ周遊ルートの造成や連携企画の実施等により、地域資源である商店街と連携した魅力創出を図ります。	▶ 周遊型イベント
スポーツ団体や文化芸術団体と連携した誘客の推進	スポーツ観戦や文化芸術の鑑賞の前後に区内の他の地域資源にも触れることができるような企画・工夫等により、関連団体と連携した誘客を図ります。	▶ 区内団体との協働の推進 ▶ トップスポーツチームとの連携の推進
アフターコンベンション*の充実	大型の会議・展示施設や宿泊施設を有する臨海部エリアを中心に、そうした施設での催しの後に来訪者が区内の魅力に触れられるよう、DMO*等との相互協力を進めます。	▶ 区内団体との協働の推進
区の歴史文化の活用	伝統工芸・伝統芸能や歴史的建造物、地域の生活文化など、区の歴史文化資源及びその背景にあるストーリーに触れられる機会を設け、観光推進における活用を図ります。	▶ 深川東京モダン館の運営 ▶ 江東区伝統工芸展等の開催 ▶ 深川江戸資料館での「匠の粋品処」の展示 ▶ 旧大石家住宅の公開 ▶ 三館*共通入館券の販売
観光ガイドツアーの実施	養成講座を受講した文化観光ガイドが、江東区内の観光スポットや多種多様な地域資源を紹介する「まちあるきガイドツアー」を開催します。	▶ 観光ガイド活用事業
魅力ある景観づくり	「CITY IN THE GREEN」(みどりの中の都市)事業との連携や、ライトアップ、花手水事業等により魅力ある景観を創出するとともに、景観づくりに関する届出制度の運用を通し、水辺、歴史文化、緑を活かす特色ある良好な景観づくりを行います。	▶ 都市景観形成促進事業 ▶ 「CITY IN THE GREEN」(みどりの中の都市)の推進 ▶ 花手水事業
地域資源を体感できるウォーキングの推進	水辺や区内の名所をコースに組み込んだウォーキング関連事業を通し、地域資源を体感できる機会を設けます。	▶ てくてく水辺ウォーク ▶ ノルディックウォーキング教室 ▶ 臨海部地域を活用したウォーキング事業
ナイトエコノミー*の推進	各種のライトアップや、夜間帯に楽しむことができる魅力を結んだルート造成等を行い、ナイトエコノミー*の推進を図ります。	▶ 夜間帯の観光資源の発掘・創出 ▶ ふれあい橋ライトアップ ▶ 万年橋ライトアップ
観光に関する情報取得、動向把握	区内の人流や交流人口、来訪者の満足度等を把握するとともに、AIを活用した本区の観光情報の収集を行い、観光メニューの企画・磨き上げや関連施策の検討を進めます。	▶ 観光関連の調査

※「三館」とは、深川江戸資料館・芭蕉記念館・中川船番所資料館を指す。

施策の方向性(2)

魅力あるイベントの開催

地域資源を活用し、本区への来訪のきっかけとなるような、また本区の魅力を感じられるようなイベントを開催します。

取り組み

取り組み名	概要	個別事業の例
水辺空間を活用したイベントの企画・開催	隅田川テラスや水辺の公園など、水辺空間を活用したイベントを民間との協働で企画・開催し、本区の大きな魅力である水辺に触れるきっかけの創出を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ お江戸深川さくらまつり LEDライトアップ ▶ 江東湾岸まつり ▶ 親水体験イベント
周遊型イベントの企画・開催	エリアごとに異なる魅力を有する本区において、来訪者が区内を周遊するきっかけとなるような、テーマ性のある周遊型イベントを企画・開催します。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 周遊型イベント ▶ 江東区みどり百景のスタンプラリー
スポーツイベントの開催	水中・水上で行うスポーツや、本区の魅力を体感できるウォーキング・ランニング等のイベント、またオリンピック・パラリンピックのレガシー*を活用したイベント等を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 江東シーサイドマラソン大会 ▶ シーカヤック教室
区の歴史文化に親しめるイベントの開催	伝統と文化を有する本区の魅力を感じられるイベントを開催し、本区をより深く理解する「江東区のファン」の獲得と地域の文化振興を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 独立行政法人 国立印刷局とのコラボイベント ▶ 民俗芸能大会等の開催



江東シーサイドマラソン大会



深川の力持

基本方針2

魅力を伝える情報発信・
プロモーション

施策の方向性(1)

観光体験の質を上げる情報の発信

本区に訪れる方に本区の魅力が伝わり、観光体験の質が上がるような、効果的な情報発信を行います。



取り組み

取り組み名	概要	個別事業の例
観光案内の機能強化	区内の観光案内所について利便性向上・利用促進を図り、他エリアや移動手段等についても案内することで周遊促進を図るほか、様々な施設と連携してチラシの配置等を行い、区内各地における観光案内機能の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 観光案内所の機能強化 ▶ 亀戸梅屋敷における観光案内業務 ▶ 駅や商業施設と連携した観光案内冊子等の配架
観光マップの作成	ニーズに応じたモデルコースの拡充や移動経路の掲載、近場のスポットの紹介や歩いて回れるコース設定などを通し、観光マップの充実を図るとともに、外国語版の新規作成等により、観光客にとっての利用しやすさの向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 江東区観光周遊MAPの作成 ▶ 江東区観光イラストマップの作成 ▶ 地域マップの作成
情報発信の媒体の充実	各種情報誌・パンフレットやホームページ、観光情報公式LINE「KOTOおでかけパス」など、情報発信の媒体の充実を図るとともに、状況・動向の変化に応じて内容を更新していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 移動のしやすさに配慮した情報発信の充実 ▶ ホームページ運営事業 ▶ 江東お店の魅力発掘発信事業(ことみせ) ▶ トコトコ日和発行事業 ▶ 観光情報公式LINE「KOTOおでかけパス」の運営
情報発信の多言語化	情報発信の多言語化を通して、より多くの人に本区の魅力を伝えるとともに、観光案内所等における多言語対応を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 案内パンフレット等の多言語表記

施策の方向性(2)

イメージ形成に向けたプロモーション

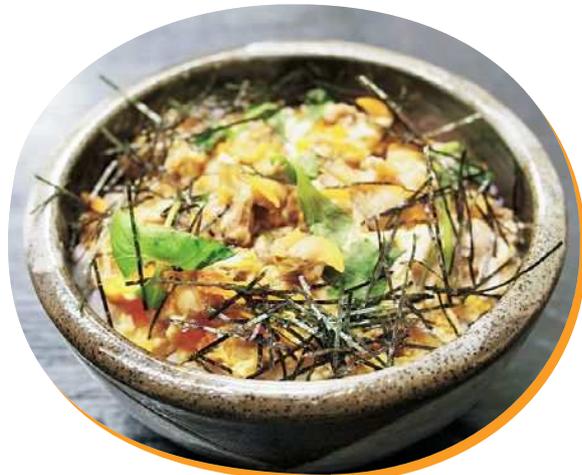
区内外の多くの方に本区とその魅力を認知してもらえよう、イメージ形成に資するプロモーションを行っていきます。



江東区観光キャラクター
コトミちゃん

取り組み

取り組み名	概要	個別事業の例
水辺の魅力に関するプロモーション	本区の特徴的な魅力の一つである水辺空間について、区内外でその認知状況に差が生じていることを踏まえ、プロモーションを企画・実施します。	▶ 水辺の魅力に関するプロモーション
SNSの活用	本区の魅力の認知度向上や区内外の「江東区のファン」の拡大に向けて、Instagram や TikTok 等のSNSを活用し、区の魅力を広く発信します。また、インフルエンサー*の活用を図り、発信力の強化を推進します。	▶ 江東区公式Instagram・TikTokの運営
区民参加型のSNS発信	動画コンテスト等を通じて区民の参画を推進し、区民目線で新たな魅力を発掘し、SNSでその魅力を発信します。	▶ 区の魅力発掘に向けた動画コンテスト ▶ 江東区観光協会Instagramフォトコンテスト事業
KOTOフィルムコミッションの活用	区のイメージや認知度の向上、また区民における区への愛着心の醸成等を目的に、江東区観光協会を中心に区内の様々な施設等と連携しながら、映像作品のロケーション撮影の誘致に向けた情報の集約・周知、撮影支援等を行います。	▶ フィルムコミッション事業



深川めし

取り組み名	概要	個別事業の例
<p>区の地域資源の ブランド化と活用</p>	<p>「江東区観光土産品」や「江東ブランド」の認定、「食」に関するプロモーションのほか、地域資源に関するグッズ作成等を通して、区の地域資源のブランド化と活用を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 江東区観光土産品認定事業 ▶ 江東ブランド推進事業 ▶ 深川めし普及啓発 ▶ 橋梁パンフレット・カード作成 ▶ 観光キャラクター等の活用
<p>返礼品付き ふるさと納税の 活用</p>	<p>ふるさと納税制度を通じて、区ならではのモノやコト・体験型等の特色ある返礼品を提供することで、区の魅力を広く発信します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 返礼品付きふるさと納税
<p>区内外の イベントとの 連携による区のPR</p>	<p>区内外で開催される各種イベントに参加し、本区の魅力の発信を行うことで、様々な切り口から本区のPRを図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ EAST TOKYO協議会等を通じた連携 ▶ 江東区民まつり中央まつりにおける観光PR ▶ 東京マラソンイベント参加事業 ▶ 観光PRブース出展
<p>外国人を対象とした プロモーション</p>	<p>海外の観光イベントへの出展や観光パンフレットの海外発送等を通じ、海外向けプロモーションを行い、本区のファンの拡大を目指します。また、そうしたプロモーションを行うにあたり、外国人が活用する情報源等についての情報収集を行い、効果的な発信を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 観光パンフレットの海外展開 ▶ 区内居住者を含む外国人対象のプロモーション



小名木川
クローバー橋

基本方針3

観光推進の
「ひと」「まち」づくり

施策の方向性(1)

観光推進の基盤となる人材育成・連携促進

地域の様々な主体と協働して観光を推進していきけるよう、
基盤となる人材育成や連携促進を行っていきます。



小・中学生に対する
伝統工芸教育事業

取り組み

取り組み名	概要	個別事業の例
水辺の 活用に向けた 協議の推進	水辺の魅力向上を目的として設立された隅田川越中島地区水辺活用協議会をはじめ、地域のまちづくり団体等との産官学民連携により、さらなる活性化と恒常的なにぎわいづくりに向けての検討を、区内外の様々な主体と協働して進めます。	▶ 隅田川越中島地区水辺活用協議会等を通じた連携
区民における 地域への 愛着の形成と 協働の推進	本区に居住する区民にまず「江東区のファン」となってもらえるよう、外国人を含む区民が区内の地域資源に触れられる仕掛けづくりを検討します。また、文化芸術団体等による学校へのアウトリーチ活動など、様々な主体との協働を推進します。	▶ 区民の区内周遊促進 ▶ 区内居住外国人に区内資源を楽しんでもらう仕掛けづくり ▶ 小・中学生に対する伝統工芸教育事業 ▶ 小・中学生に対する文化芸術体験事業
観光ガイドの 養成と活用	区民を中心としたボランティアによる「江東区文化観光ガイド」「江東区英語ボランティアガイド」の養成講座を開催し、他のガイドについても養成に向けた取り組みを検討します。また、ガイドが活躍できるよう、活躍の場の確保に向けた連携を図ります。	▶ 江東区文化観光ガイド養成講座 ▶ 江東区文化観光ガイドフォローアップ研修 ▶ 江東区英語ボランティアガイド養成講座
区内の施設・団体 との連携の推進	観光関連団体に対する補助等の支援を行うほか、観光と直接関係のない各種団体も含めて協働できるよう、連携ニーズの把握や情報交換を図ります。また、文化施設・商業施設・宿泊施設・交通機関等との協力による観光情報の周知、イベントやツアーの企画及び連携等を行います。	▶ 観光イベントに対する補助 ▶ 横十間川親水公園内での和船運航 ▶ 区内団体との協働の推進

取り組み名	概要	個別事業の例
観光協会との協働	江東区観光協会の財政基盤の強化及び事業の充実を支援するとともに、フィルムコミッション等の観光関連事業について、連携しながら推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 江東区観光協会運営補助事業 ▶ フィルムコミッション事業
事業者や団体等への情報提供	江東区観光協会会員（観光団体・民間事業者等）向けの観光セミナー等を通して、観光に関する直近の動向や区の観光施策等について情報提供を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 観光セミナー事業
区外との連携の推進	墨田・台東・江東の3区及び東武タワースカイツリー株式会社からなる「EAST TOKYO協議会」をはじめとして、観光推進に向けた区外との連携を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 全国連携プロジェクト ▶ EAST TOKYO協議会等を通じた連携 ▶ 江東区民まつり中央まつりにおける観光PR
メタ観光*の推進	潜在的な地域の文化資源・魅力を掘り起こし、その場所にある様々な情報をオンライン地図上で見えるようにする「メタ観光*」の取り組みを、区民や「江東区のファン」とともに推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ メタ観光*の推進

Column コラム



メタ観光って？

「メタ観光」とは、これまで見えていなかった地域の文化資源・魅力(アニメ聖地やインスタ映え、地形等)を新たな観光資源として掘り起こし、その場所にある様々な情報をオンライン地

図上に可視化して、地域の観光を楽しむという考え方です。



このメタ観光を推進する上では、地域に眠った魅力や価値を様々な視点で発掘していくことが求められ、地域で実際に暮らす区民との協働は非常に重要です。本区では、これまでに区民参加型のワークショップを行い、地域の様々な魅力を集め、「江東メタ観光マップ」として公開するなどの取り組みを進めてきています。

区民の生活空間への配慮を十分行いつつ、今後も区民や区のファンとの協働によりメタ観光を推進していきます。

施策の方向性(2)

安心して快適に観光を楽しめる環境づくり

訪れる側・受け入れる側が双方安心できる持続可能な観光*の推進に向けて、各種の環境整備を行っていきます。



深川シャトル
(都バス 急行06系統)

取り組み

取り組み名	概要	個別事業の例
水辺空間の 整備・管理・活用	船着場の活用に向けた施設管理のほか、来訪者に水辺空間を快適に楽しんでもらうための環境整備を行うとともに、舟運の活性化及び水辺空間の魅力向上に向けて必要な環境整備を検討し、適宜着手します。	▶ 乗船場等の維持管理
移動しやすさの 向上	シャトルバスやコミュニティサイクル等による移動の利便性確保に努めるほか、各種情報案内において移動手段をわかりやすく提示し、総合的な移動しやすさの向上に努めます。また、新たな技術を活用した移動手段の導入についても研究を進めます。	▶ シャトルバス運行事業 ▶ 江東区コミュニティサイクル推進事業
オーバーツーリズム* の対策	観光客の訪問先及び移動手段の分散等を通して、東京都等と連携しながら公共交通における過度な混雑の緩和を図るとともに、問題の発生状況に応じて、ごみ対策、マナー向上のための啓発など、必要な対応を検討・実施します。	▶ オーバーツーリズム*の状況の把握 ▶ マナー向上に向けた情報発信
来訪者が 安心できる 防災の推進	区施設に配架する防災マップや、多言語対応の防災アプリ等により、外国人を含む来訪者に対し、防災情報や避難情報等をわかりやすく発信します。	▶ 危機管理啓発事業(防災マップ) ▶ 江東区防災アプリ、江東区防災ポータル

取り組み名	概要	個別事業の例
<p>わかりやすい案内標識の設置・管理</p>	<p>多言語表記のものを含め、わかりやすい公共サインや案内標識等を設置・管理し、ユニバーサルデザインの視点での配慮も行うことで、来訪者にとっての利便性の維持・向上を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公共サイン維持管理事業 ▶ 観光案内標識・観光説明板の設置
<p>外国人観光客が安心して楽しめる体制の整備</p>	<p>外国人観光客が安心して楽しめるよう、各種情報の多言語化、また観光案内やガイドにおける多言語対応等を推進するほか、観光客の文化的・宗教的背景への配慮を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 観光案内所の機能強化 ▶ 江東区英語ボランティアガイド養成講座 ▶ 案内パンフレット等の多言語表記 ▶ 観光客の文化的・宗教的背景への配慮の推進 ▶ 各施設におけるWi-Fi環境の充実
<p>バリアフリーの推進</p>	<p>鉄道駅及びその周辺など、公共性の高い箇所を中心にバリアフリー化とその情報発信を進めます。また、駅と観光資源とを結ぶ動線の整備等を検討し、安全で快適な歩行空間づくりを図ります。また、障害者や高齢者に対する配慮として、情報のアクセシビリティの向上を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 鉄道駅総合バリアフリー推進事業 ▶ 江東区バリアフリー基本構想 ▶ やさしいまちづくり施設整備助成 ▶ 障害者意思疎通支援事業（江東区コミュニケーションハンドブック）

区内の観光案内所



深川東京モダン館



亀戸梅屋敷



豊洲 千客万来 食楽棟 2階

重点プロジェクト1

水辺を活かした 観光推進

現状認識とプロジェクトの方向性

江東区は、歴史的に常に水と関わりを持って発展してきた地域です。区の東西に荒川と隅田川を配し、南は東京湾に面しています。さらに総延長50キロメートル以上の河川・運河が区を縦横に走り、また親水公園などが整備されており緑も多く、都心にありながら豊かな水と緑に囲まれた癒しの空間が広がる『水彩都市』です。まちづくりの基本的な指針となる「江東区基本構想」(平成21年策定)においても、区の将来像を「みんながでつくる伝統、未来 水彩都市・江東」と定めるなど、水辺の環境を特徴と捉えてまちづくりを進めてきました。

一方、まだ十分に観光面で活用されていない水辺の資源が存在するとともに、その魅力のさらなる向上の可能性も存在しており、これら資源の管理・活用・魅力向上、またそれに向けた様々な主体との協議・連携を推進していく必要があります。また、本区の水辺の魅力は区外に十分に届いておらず、プロモーション等を通して魅力を広めていくことも求められます。加えて、重点プロジェクト2にも定める通り、周遊性の確保が課題となる中で、水辺と内陸を双方向に結ぶ動線の確保が重要となります。

こうした状況を踏まえ、以下のような取り組みを進めることで、水辺を活かした観光推進を図ります。

本プロジェクトにおける取り組み

掲載位置	取り組み
基本方針1(1)	観光舟運の活性化
	和船の乗船機会づくり
	にぎわいある水辺空間の創出
基本方針1(2)	水辺空間を活用したイベントの企画・開催
基本方針2(2)	水辺の魅力に関するプロモーション
基本方針3(1)	水辺の活用に向けた協議の推進
基本方針3(2)	水辺空間の整備・管理・活用

▶ 本区における水辺の特徴

- 隅田川を中心に運航する水上バスは浅草やお台場と連絡しており、さらに、深川・城東エリアを走る河川でも観光船が運航され、多様なクルージングを楽しむことができます。(中略) 水辺での散策や、アウトドア、レジャーなど、まさに『水彩都市』としてふさわしい観光・おでかけスポットやイベントが満載です。

公式観光情報サイト「江東おでかけ情報局」(令和8年)より

- 江東区内には、徳川家康の命により開削された小名木川を始め、江戸時代に開削された仙台堀川、豎川、横十間川など、内部河川*と呼ばれる18もの川があり、(中略) 江東区内を縦横に走っている内部河川*や運河は、江東区内をネットワークするように走っています。内部河川*や運河に沿って、散策路として「水辺の散歩道」や「潮風の散歩道」、「塩の道」などが整備され、サクラ、クロマツ、コブシなどを植えて、みどり豊かな水辺空間が形成されています。(中略) 次の項目が、水辺の特徴をあらわす項目です。
- ① 内部河川*や運河により、ネットワークが形成されています。
- ② 埋立てられた河川が公園などとして整備されています。
- ③ 水辺に散歩道が整備されています。
- ④ 水位が一定に保たれている区間があり、水面利用が容易となっています。
- ⑤ 江東区の歴史的な面影が残っています。

江東区景観計画(平成21年3月策定)より



旧中川

お江戸深川さくらまつり



周遊性の高い 観光推進

現状認識とプロジェクトの方向性

本区は、内陸部の深川エリア・城東エリア、また臨海部エリアの3つに大きく分けられ、それぞれにエリアごとの特徴を有しています。深川・城東エリアでは、土地の本格的な開発が始まった江戸時代から脈々と世代を越えて受け継がれてきた区の「伝統」を感じることができる一方、区南部の臨海部エリアを中心に集うビジネス・エンターテイメント・文化芸術関連の高層ビル群の姿からは、都市としての「未来」を見出すことができます。

一方、これらの3つのエリアそれぞれの魅力は、観光客において必ずしも均等に楽しまれているものではなく、多くの観光客を集めるスポットが近年は臨海部エリアに比較的集中している状況です。また、区内の観光スポット間の周遊は活発とはいえない状況であり、それぞれのエリアの魅力を踏まえた周遊促進の施策を実行していくことが求められます。加えて、周遊促進を図る上では、エリアに関わらず各主体間が連携を深めていくことが重要であり、観光に関わる人と人、団体と団体をつなげていく視点が求められます。

こうした状況を踏まえ、以下のような取り組みを進めることで、周遊性の高い観光推進を図ります。

本プロジェクトにおける取り組み

掲載位置	取り組み
基本方針1(1)	区内の有力資源を活用した周遊促進
	周遊ルートの造成
	商店街と連携した魅力の創出
	スポーツ団体や文化芸術団体と連携した誘客の推進
	アフターコンベンション*の充実
基本方針1(2)	周遊型イベントの企画・開催
基本方針2(1)	観光案内の機能強化
	観光マップの作成
基本方針3(2)	移動しやすさの向上

本区における3つのエリアごとの特徴(再掲)



粋と人情の下町
深川エリア

都内屈指の名園として知られる清澄庭園、江戸三大祭の一つ「深川八幡祭り」で有名な富岡八幡宮等に加え、近年ではカフェが集まり多くの来訪者を呼んでいるなど、多様な魅力を有する。

—— 主要なスポット ——

- 清澄庭園
- 富岡八幡宮
- 成田山 深川不動堂
- 東京都現代美術館
- 芭蕉記念館
- 深川江戸資料館 など

寺社と賑わいのまち
城東エリア

歴史ある亀戸天神社、有名な砂町銀座商店街のほか、内陸部でありながら多くの親水公園や「旧中川・川の駅」等の水辺のスポットを有する。

—— 主要なスポット ——

- 亀戸天神社
- 亀戸香取神社
- 中川船番所資料館
- 砂町銀座商店街
- 仙台堀川公園
- 旧中川 など

潮風薫るまち
臨海部エリア

都内でも屈指の集客力を誇る施設を多く擁し、林立する高層建築物群が「未来」を思わせると同時に、港や海沿いの公園など、他エリアとは異なる水辺スポットを擁する。

—— 主要なスポット ——

- 豊洲市場
- 豊洲 千客万来
- チームラボプラネッツ TOKYO DMM.com
- 東京ビッグサイト
- 日本科学未来館
- 豊洲ぐるり公園
- 東京国際クルーズターミナル など

各エリアにおける取り組みについて

重点プロジェクト2は、周遊性の向上につながる取り組みの推進を図るものですが、一方で、実際に来訪者にそれぞれのエリアを訪れてもらうためには、それぞれにおける魅力の向上等の取り組みが欠かせません。

以下に、それぞれのエリアにおいて特に重要となる取り組みをまとめます。



エリア	掲載位置	取り組み
深川エリア	基本方針1(1)	観光舟運の活性化
		和船の乗船機会づくり
		にぎわいある水辺空間の創出
		商店街と連携した魅力の創出
		区の歴史文化の活用
	基本方針2(1)	観光案内の機能強化
	基本方針2(2)	区の地域資源のブランド化と活用
基本方針3(1)	水辺の活用に向けた協議の推進	
	基本方針3(2)	水辺空間の整備・管理・活用
城東エリア	基本方針1(1)	観光舟運の活性化
		にぎわいある水辺空間の創出
		商店街と連携した魅力の創出
		区の歴史文化の活用
	基本方針2(1)	観光案内の機能強化
	基本方針2(2)	区の地域資源のブランド化と活用
基本方針3(2)	水辺空間の整備・管理・活用	
臨海部エリア	基本方針1(1)	観光舟運の活性化
		区内の有力資源を活用した周遊促進
		アフターコンベンション*の充実
	基本方針2(1)	観光案内の機能強化
	基本方針2(2)	区の地域資源のブランド化と活用
	基本方針3(1)	区内の施設・団体との連携の推進
	基本方針3(2)	水辺空間の整備・管理・活用
オーバーツーリズム*の対策		

第5章

プランの推進に向けて

1	推進に向けた各主体の役割	58
2	推進に向けた進捗管理	59

1 推進に向けた各主体の役割

本プランにおいて定めた取り組みを推進していくにあたっては、区や観光協会はもとより、区民・団体、民間事業者といった様々な主体が協働していくことが求められます。

以下に、観光推進に向けてそれぞれの立場が担っていく事柄の想定を整理します。

区

- 区全体としての観光推進の方向性を示す
- 関係主体間の連携を促進するとともに、それぞれの活動を支援する
- 区民の区に対する誇りや愛着を醸成する
- 区全体のプロモーションやハード整備など、公的性質の強い取り組みを実施する
- 他自治体等との連携を推進する



観光協会

- 全区的な観光推進の中間支援を担う
- 観光推進に係る地域団体や区との連携を行う
- 具体的な観光メニューの企画、販売を行う



区民

- 区の魅力を知り、自身が観光客として楽しむとともに、周囲に広める
- 意向や能力等に応じて、観光ボランティアなど観光推進の活動に関わる



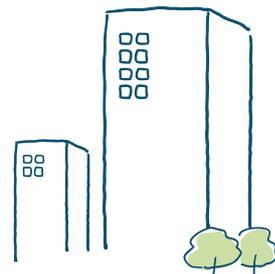
区民団体

- 観光関連の区民活動の場を設ける
- 区の魅力やにぎわいの創出を担う
- 直接観光に関連しない活動においても、観光分野との連携により相乗効果が見込めるものについて、連携を進める



民間事業者等

- 区の魅力やにぎわいの創出を担う
- 直接観光に関連しない事業においても、観光分野との連携により相乗効果が見込めるものについて、連携を進める



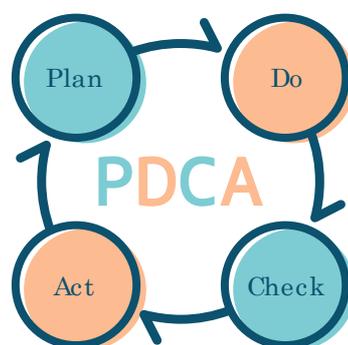
2 推進に向けた進捗管理

社会情勢や時流の変化が著しい昨今の状況を鑑みると、本プランを推進していくにあたっては、策定以降の進捗管理を定期的に行い、マーケットの情勢を深く注視しながら、状況の変化を踏まえた見直しや具体的な施策の再検討を行っていくことが求められます。

本プランについては、以下の事項を通し、推進に向けた進捗管理を行います。

(1) PDCAサイクルの構築

本プランにおいては、定めた取り組みについて、担当する部署により毎年度の実施内容の振り返りと評価、それを踏まえた次年度の方針検討を行い、計画(Plan)→実行(Do)→評価(Check)→改善(Act)のPDCAサイクルに沿った進捗管理を行います。特に、重点プロジェクトについてはプロジェクト単位で集中的に進捗管理を行います。



(2) 指標の確認

本プランの進捗を測る上では、本プランで設定した指標について状況を確認し、定量的な把握も行います。特に、数値データの取得が必要なものは調査等を行って取得し、次年度以降に実施すべき内容の検討に活用します。



(3) 進捗管理の場の設定

毎年度行う進捗評価の内容については、その内容を確認する会議の場を設定し、多様な視点から、プランの達成状況や今後行うべき取り組み等について検討します。



本プランの成果指標一覧

該当箇所	指標	現状値 [R6]	目標値 [R12]
基本理念 区民も来訪者も満足度 No.1のまち 江東	江東区についての他者推奨度*が9点以上の区民の割合	18.5%	→ 30%
	江東区についての他者推奨度*が9点以上の来訪者の割合	11.7%	→ 20%
基本方針1 地域資源を活かした魅力づくり・磨き上げ	江東区は魅力的な文化観光資源があると思う区民の割合*	87.4%	→ 90%
	区への来訪者数*	国内旅行者 31,828,700人 → 32,412,000人 外国人旅行者 2,490,000人 → 2,663,000人	
	一人当たり観光消費額	-	→ 10%上昇
基本方針2 魅力を伝える情報発信・プロモーション	江東区について「印象は特にない」方の割合	区民 6.5% → 3% 都内 15.5% → 10% 都外 27.4% → 20%	
	江東区は魅力的な文化観光資源があると思う区民の割合*(再掲)	87.4%	→ 90%
基本方針3 観光推進の「ひと」「まち」づくり	区の観光について、オーバーツーリズム*の懸念がある区民の割合	20.9%	→ 15%
	観光ガイドの案内者数*	2,746人	→ 3,200人
重点プロジェクト1 水辺を活かした観光推進	江東区について「水辺のスポットが多い」という印象を持つ割合	区民 51.2% → 60% 都内 33.2% → 40% 都外 21.3% → 30%	
	区内主要船着場の利用件数	4,420件	→ 6,000件
重点プロジェクト2 周遊性の高い観光推進	区への来訪者のうち、区内の滞在時間が4時間以上の割合	44.0%	→ 50%
	区への来訪者における、来訪箇所数が2か所以上の割合	26.5%	→ 35%

※末尾に「*」のある指標は、本区の長期計画（後期）と共通の指標であり、目標値は、長期計画における目標値（令和11年度）を踏まえつつ令和12年度の目標値として異なる数値を設定しています。ただし、「江東区は魅力的な文化観光資源があると思う区民の割合」については、長期計画の目標値（令和11年度）の「維持」を目標とし、同じ数値を設定しています。

※観光消費額については、令和8年度より取得予定であり、対令和8年度比で10%の上昇を目標とします。

※「江東区は魅力的な文化観光資源があると思う区民の割合」は区民アンケート（企画課）より。「区への来訪者数」は「モバイル空間統計（東京都産業労働局「モバイルデータを活用した訪都旅行者動向調査結果」を基に編集）」より。「観光ガイドの案内者数」「区内主要船着場の利用件数」は業務取得統計より。その他の指標は区のインターネット調査より。

資料編

1	プランの策定体制	62
2	プランの策定経過	64
3	用語解説	65

1 プランの策定体制

本プランの策定にあたっては、学識経験者や区内各種団体関係者等により構成される「江東区観光推進プラン策定会議」及び庁内関連部署職員により構成される「江東区観光推進プラン策定検討委員会」を設置し、プランの内容について協議しました。

(1) 江東区観光推進プラン策定会議

職	氏名	所属等	分野
会長	安島 博幸	立教大学 名誉教授	学識経験者
副会長	古屋 秀樹	東洋大学 国際観光学部 教授	学識経験者
委員	牧野 友衛	一般社団法人 メタ観光推進機構 代表理事	有識者
委員	小嶋 映治	一般社団法人 江東区観光協会 理事長	観光
委員	藤井 達也	東京商工会議所江東支部 副会長	産業
委員	柳澤 廣次	一般社団法人 東京都江東産業連盟 専務理事	産業
委員	本間 修	江東区商店街連合会 副会長	商店街
委員	石川 直昭	公益財団法人 江東区文化コミュニティ財団 理事長	文化
委員	本多 遥	一般社団法人 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団	文化
委員	荒山 英之	株式会社 東京臨海ホールディングス 事業調整部長	まちづくり
委員	橋本 昌幸	株式会社 日本旅行 新宿法人営業部 課長	旅行事業者
委員	尾関 孝紀	江東区文化観光ガイドの会 会長	区民団体
委員	須永 倅子	NPO法人 江東区の水辺に親しむ会 理事長	区民団体
委員	イワタ マサヨシ	隅田川マルシェ実行委員会 委員長	区民団体
委員	山本 博子	公募区民	区民
委員	大友 千里	公募区民	区民
委員	池田 良計	江東区 地域振興部長	行政
オブザーバー	國嶋 匡	清水建設株式会社 設計本部 プリンシパル	
オブザーバー	福地 憲一	一般社団法人 江東区観光協会亀戸支部 前支部長	

(2) 江東区観光推進プラン策定検討委員会

職	所属等	氏名
会長	地域振興部長	池田 良計
副会長	地域振興部文化観光課長	青山 陽一
委員	政策経営部企画課長	小林 愛
委員	政策経営部港湾臨海部対策担当課長	岸上 泰士
委員	政策経営部広報広聴課長	山口 遥
委員	政策経営部シティプロモーション担当課長	森澤 友貴
委員	地域振興部地域振興課長	上原 新次
委員	地域振興部経済課長	小越 誠
委員	地域振興部スポーツ振興課長	鳴川 裕三
委員	地域振興部参事 (一般社団法人 江東区観光協会事務局長)	杉田 幸子
委員	地域振興部副参事 (公益財団法人 江東区文化コミュニティ財団管理課長)	佐藤 久美子
委員	都市整備部まちづくり推進課長	名取 尚宏
委員	都市整備部地下鉄8号線事業担当課長	篠原 徹
委員	土木部河川公園課長	古木 健人
委員	土木部施設保全課長	大野 俊明
委員	土木部地域交通課長	川野 英明
委員	教育委員会事務局庶務課長	瀧澤 慎

2 プランの策定経過

実施時期	内容	詳細(主な議題等)
令和6年度	調査の実施	4種の調査(団体ヒアリング、来訪者聞き取り調査、インターネット調査、モニターツアー)の実施
令和7年	4月22日 第1回 江東区観光推進プラン策定検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 江東区観光推進プランの策定について ● 江東区観光推進プランの策定に向けた調査報告 ● 今後のスケジュール
	6月19日 第1回 江東区観光推進プラン策定会議	<ul style="list-style-type: none"> ● 委員委嘱 ● 江東区観光推進プランの概要および策定に向けた調査報告 ● 今後のスケジュール
	7月29日 第2回 江東区観光推進プラン策定検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 第1回江東区観光推進プラン策定会議の報告 ● 江東区観光推進プラン骨子案の検討
	8月8日 第2回 江東区観光推進プラン策定会議	<ul style="list-style-type: none"> ● 第1回江東区観光推進プラン策定会議の報告 ● 江東区観光推進プラン骨子案の検討
	10月29日 第3回 江東区観光推進プラン策定検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 第2回江東区観光推進プラン策定会議の報告 ● 江東区観光推進プラン素案の検討
	11月14日 第3回 江東区観光推進プラン策定会議	<ul style="list-style-type: none"> ● 第2回江東区観光推進プラン策定会議の報告 ● 江東区観光推進プラン素案の検討
令和7年 令和8年 12月11日～ 1月5日	パブリックコメントの実施	区内在住・在勤・在学の方より、プラン素案に対する意見を募集
令和8年	1月19日 第4回 江東区観光推進プラン策定検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 第3回策定検討委員会・策定会議、庁内各部照会について ● パブリックコメントの実施結果報告 ● 江東区観光推進プラン最終案の検討
	1月28日 第4回 江東区観光推進プラン策定会議	<ul style="list-style-type: none"> ● 第3回策定検討委員会・策定会議、庁内各部照会について ● パブリックコメントの実施結果報告 ● 江東区観光推進プラン最終案の検討
	2月18日 第5回 江東区観光推進プラン策定会議	<ul style="list-style-type: none"> ● 江東区観光推進プラン最終案の報告 ● 江東区観光推進プラン最終案の区長への提出
	3月6日 議会報告	江東区観光推進プラン案を報告

3 用語解説

用語	説明
DMO	Destination Management Organizationの頭文字の略。地域にある観光資源に精通し、地域と協働して観光地域づくりを行う法人のこと。
インバウンド	国外から訪れる外国人旅行者、またはその旅行のこと。
インフルエンサー	インターネットやSNS上で多くのフォロワー（支持者）を持ち、その発信内容が多くの人の考え・行動に大きな影響を与える人物のこと。
オーバーツーリズム	特定の観光地に過度に多くの旅行者が訪れることで、地域住民の生活環境の悪化や自然環境への悪影響、観光の質の低下が、認容できる範囲を超えて発生する状態のこと。
コンベンション	国際会議や展示会などの大規模な催しのこと。「アフターコンベンション」とは、そうした催しの後に参加者が観光や食事、レジャーを楽しむ活動のこと。
持続可能な観光	旅行者とそれを受け入れる地域、また関係事業者それぞれのニーズに適合する形で、環境・社会文化・経済への影響に十分配慮した、将来にわたって持続可能な観光のあり方のこと。
シビックプライド	住民が自分の住む地域に対して抱く愛着や誇りのことで、単なる愛郷心にとどまらず、地域をより良くするために主体的に関わろうとする気持ちを含む。
他者推奨度	訪れた場所や体験したサービスを、家族や友人にどの程度すすめたいかを数値化したものであり、観光地等の満足度を測る指標として用いられる。
旅ナカ	旅行者が目的地に到着してから、現地で滞在し、観光を楽しんでいる最中の期間や活動のこと。
旅マエ	旅行に出発する前の段階で、行き先の情報を集めたり、宿泊先や交通手段を予約したりする検討期間のこと。
ナイトエコノミー	夜間帯に行われる経済活動のことで、夜間の観光資源の活用や飲食、各種体験等を通じて地域の活性化を図るもの。
内部河川	荒川と隅田川に挟まれた江東三角地帯を流れる旧中川、小名木川、横十間川、仙台堀川、竪川などの河川の総称。
メタ観光	地域の文化資源・魅力を新たな観光資源として掘り起こし、その場所にある様々な情報をオンライン地図上に可視化して、地域の観光を楽しむという考え方のこと。
レガシー	大規模なイベントや事業の開催を通じて生み出された施設や仕組み、文化的な変化などのうち、終了後も長期にわたって地域に残る社会的な遺産のこと。

▶江東区観光イラストマップ

江東区 観光イラストマップ

江東区
スポーツと文化が輝くまち
KOTO in TOKYO

●は、江戸七福神めぐりの神社・仏閣です。
●は、深川七福神めぐりの神社・仏閣です。

江東区観光キャラクター

- 伝統 コーちゃんトくん
- 未来 ヒーロくん
- 水彩都市 コトミちゃん

江東区観光情報局
江東区観光情報局
江東区観光情報局
江東区観光情報局

江東区コミュニティサイクル
江東区内を自転車で楽しむ
江東区コミュニティサイクル
https://docomo-pole.jp/tokyo/

いんど KOTO 江東区の魅力を発信
Instagramのフォロー
Twitterのフォロー
TikTokもよろしく!
LINEもよろしく!

KOTO 江東区を満喫して
江東区を満喫して
江東区を満喫して

- 新たな魅力を発見! 「江東メタ観光マップ」グルメ・主要商業施設・お祭り・お花見スポット・お花見スポット
- おすすめスポット投稿
- 観光コース
- 観光スポットリスト
- 江東区内のお店の魅力を発信! 「ことみせ」
- イベント情報
- ふるさと納税

※マップ上の案内・観光イラストマップの掲載順については、令和7年12月現在のものであります。

▶ 表紙・裏表紙掲載項目一覧



- ① 東京ビッグサイト
- ② 旧中川
- ③ 東京ゲートブリッジ
- ④ 海の森水上競技場
- ⑤ 亀戸天神社
- ⑥ 江東区観光キャラクター コトミちゃん
- ⑦ 大横川 和船乗船体験
- ⑧ 清澄庭園
- ⑨ 木場の角乗 かくのり

- ⑩ 永代橋
- ⑪ 大横川 河津桜
- ⑫ 富岡八幡宮
- ⑬ ロゴマーク、江東区プロモーションメッセージ
- ⑭ 江戸切子
- ⑮ 江東花火大会
- ⑯ 東京国際クルーズターミナル



江東区観光推進プラン

令和8年度～令和12年度

令和8年3月

印刷物登録番号(7)76号

編集発行

江東区地域振興部文化観光課

江東区東陽4-11-28

電話03(3647)9111 (大代表)



KOTO City In TOKYO

トキョーの、
ちよっと東。
すごく今。

